くんねっぷ

議会だより

次期町長選出馬の考えは

一般質問 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ④ページ

200号

― 成人式 ―

家族への感謝、これからの期待
笑顔が溢れる新成人

もくじ

12月定例会で審議した議案 ・・・・・・・・・・・・・・ ② ページ
平成29年度各会計の決算を認定 ・・・・・・・・・ ⑫ ページ
議会の主なうごき／あとがき ・・・・・・・・・・・・・・ ⑭ ページ

平成30年 12月 定例会　12月11日～12日まで

高齢者ハイヤー利用サービス業務委託料、スポーツセンター落成記念事業費などを補正

平成30年度一般会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

一般会計

歳入歳出予算に1,374万９千円を追加し、総額を58億3,046万６千円としました。

■歳出内容

【総務費】

○高齢者ハイヤー利用サービス業務の委託料として

355万３千円を追加

【民生費】

○国民年金システム改修に関する経費として

73万円を追加

【衛生費】

○葬斎場維持管理業務の委託料として

27万円を追加

【農業費】

○営農集団等の馬鈴薯やてん菜等の省力作業機械等の導入補助として

183万円を追加

○農家後継者への補助として

120万円を追加

○台風21号で被害のあった農機具格納庫等の復旧費補助として

161万８千円を追加

○特別栽培や有機農業に取り組む農業者への交付金として

211万５千円を追加

【教育費】

○訓小スクールバンドの全道リコーダーコンテストへの参加に係る引率者・児童派遣費への補助として

32万２千円を追加

○スポーツセンター落成記念事業費等として

284万円を追加

○語学指導助手に関する経費から

72万９千円を減額

質疑応答

議案第54号 スポーツ器具購入事業について

Q スポーツセンター建設に伴うスポーツ器具等の取得について議会の同意を求められたが、契約金額の2,056万6,440円が予定価格と同額となっているがなぜか。

A 12月5日に7社による入札を行ったが不落となった。引き続き2回目入札をしたがこれも不落となった。

これにより地方自治法施行令167条の2第1項第8号の規定により随意契約をしたことによる。

条例の制定等

※原案可決

◆訓子府町スポーツセンター設置条例の全部を改正する条例の制定

施設の建て替えに伴い、条例を全部改正しました。

◆訓子府町認定こども園条例等の一部を改正する条例の制定

子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴い、条例を改正しました。

◆財産の取得

スポーツ器具等を㈱小柳中央堂から購入することについて同意しました。

○契約金額2，056万6，440円

◆町道路線の廃止及び認定

末広団地南3条線道路整備に伴い、本路線の起終点が変更になることから、既路線を廃止し、新たに町道認定しました。

報告

※報告了承

□出納検査結果報告

監査委員から10月から12月までの一般会計、特別会計及び水道事業会計について例月出納検査を実施した結果、出納事務は適法に行われ、異状ないとの報告がありました。

討論

◆議案第51号

一般会計補正予算

※挙手採決　賛成8名　反対1名（余湖議員）

▼反対▲

余湖議員：一般会計補正予算のうち、スポーツセンターのこけら落とし事業について、種目の選考過程や行事の内容についての話し合いが不十分だと思う。到底総額280万円使って町民に理解を得られるものではない。

▼賛成▲

山田議員：こけら落としは普段、町民が見ることのできないことを披露してもらいみんなで祝うものだと思う。選考過程に若干不十分な部分があったのかもしれないが、総体的に理解できる。

堤　議員：団体を招致する経費であり町民に説明できる。選考の仕方はもう少し検討あってもよかったが、基本的には納得した。

◆議案第52号

訓子府町スポーツセンター設置条例の全部を改正する条例の制定

※挙手採決　賛成8名　反対1名（堤議員）

▼反対▲

堤　議員：喫煙について公民館の対策もなっておらず、法令化されているから条例で規定しなくてもよいとの話だが、町民の健康増進のための施設でもあり、施設外禁煙と付記した条例を作ってもらいたい。

▼賛成▲

山田議員：上位法で定められており、その趣旨に基づき実施すればよい。公民館の状況も解消したいとの説明もあり、条例はこのままでよいと思う。

議決した意見書

議員提案により次の意見書案が提出され、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出しました。

◆日米物品貿易協定交渉に関する要望意見書

日米物品貿易協定交渉は、ＴＰＰ水準を交渉のベースとしていますが、米国政府の強硬姿勢によって、更なる高い水準での農畜産物関税の削減・撤廃等を求められる恐れがあることから、毅然とした姿勢を貫き、安易な農畜産物関税協議は行わないこと。

ひとことインタビュー

議会を傍聴された方に感想を聞いてみました

◆**議会傍聴のきっかけは？**

地元の議員の一般質問と行政側の答弁を一度聴いてみようと思い傍聴しました。

◆**傍聴した感想は**

自然災害時の対応についての質疑は、訓子府町でもあり得ることなので、大事だと思いました。

◆**議会に望むことは？**

人口減少や災害への備え、対応など町の課題はさまざまありますが、町民代表として今まで同様がんばっていただきたいと思っています。

一般質問

一般質問の記事は、各議員が音声データを基にして書き上げたものを掲載しています。

次期町長選出馬の考えは

町長 ▼▼ 後援会と協議し前向きに検討

河端議員

河端 菊池町政３期12年の任期も残り少なくなってきました。

この間に６千人だった人口が、ついに５千人を切りました。

高齢化率も37％となり、ますます少子・高齢化、過疎化が進んでいます。これまでさまざまな政策を進めてこられましたが、これらの課題に歯止めをかけることは困難でした。

そこで、菊池町政12年をどう総括し残された課題をどのように捉えていますか。

それを踏まえて、平成31年４月に行われる統一地方選挙の町長選挙に出馬されるお考えがありますか。

町長 私は「訓子府の底力でふるさとの未来をひらく」ために「町民こそが主役」で「町民福祉の増進を図る」ことを基本理念に町政を推進してきました。

町民自治への参加、参画を制度化する「訓子府町まちづくり町民参加条例」「まちづくり推進会議条例」を次期議会へ提案する準備を進めています。

11月末に人口が５千人を割り込みました。30年後には、３千人を割り込むことも想定されていますが、全国には人口５００人を下回る自治体もあります。

住民がまちづくりに積極的に参加、参画する小さいからこそできる自治の仕組み、実践が問われると思います。

産業、特に基幹産業を発展させ、教育・福祉を充実させることを根幹として進めてきましたが、国による制度改正や地域課題が散見されています。

まちづくり町民参加条例・財政見通しの樹立・第４期農業基盤整備をはじめ、図書館や消防庁舎の建設など懸案事項が山積しています。

後援会役員にも相談し、４期目立候補に向けて前向きに検討します。

河端 この先、人口が３千人、４千人を切ることがあってもここに住む人がいる限り、安心して暮せるようにしなければなりません。

首長が変わる度にさまざまな施策が変わるのでは安心して暮らせません。町政の持続性をどのように考えていますか。

町長 行政は連続してこそ意味があると思います。安心して暮らせる町政を目指して課題に向き合いたいと考えています。

河端 これから４年間課題解決とともに、次に託せるような人づくりも大きな責任では。

町長 これから４年間で志を持った人が出てくると確信していますが、課題としてあげられると思いますが、意見としてお聞きします。

一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき２問までを掲載し、内容を要約しています。
その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。
会議録は図書館に備えつけてあります。ホームページ(http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/gikai/)にも掲載しております。
なお、会議録公開については、議会終了後３か月程度の期間を要します。

住環境リフォーム事業の運用法等の見直しは

町長▼事業効果があり、制度存続と内容見直しも

山田議員

山田 さまざまな施策を実施しても、ついに人口5千人を割り、転入者や定住者を増やす実効性のある施策が今こそ必要だ。民間提案型住宅整備事業の目的、成果、今後の課題は。

町長 定住促進は山田議員も言う実効性のある施策が必要だ。住宅不足の顕在化を早期解決のため本事業を実施。

初めて北見市内の情報誌に町の情報も掲載し募集した。町外から4世帯が入居、施策の方向性に一致している。

一方、間取りや家賃等の対応も検討課題として感じた。

山田 入居家庭の元住所、家族人数、選考経過は。

町長 オホーツク管内3世帯、上川管内1世帯、町内が4世帯。

全て夫婦世帯で全体で成人17名、未就学児7名の計24名。9件の応募で選考委員会により8世帯を決定した。

山田 民間提案型の長所は「安価な事業費」と「民間的で斬新なアイデア」と思うが、実際はどうだったか。

町長 「工期が短い」などの長所もあり、事業費は普通より70～75%になると聞いている。

山田 それほど削減されるか疑問だが、安くなる理屈は分かる。ただ、1社応募で選定委員会の評価点が百点換算で67点は低く、80点は必要でなかったか。

町長 1社で比較がなく採点しにくく、項目毎に「よい10点」「普通6点」「悪い3点」で評価したので、67点という平均点になった。

山田 本事業の評価の結果、今後の同事業や類似事業の実施は。

町長 人口対策は転出等の社会減抑制が問われる。議員指摘の「町の魅力」を発信し、転入者増につなげたい。

選ばれるまちを目標にさまざまな住環境整備も検討する必要を感じる。

山田 住環境の改善と商工業振興を兼ねた住環境リフォーム事業は有効ですが、一層の事業効果を目指して予算や運用法の見直しは。

町長 本事業は8年間実施し事業効果をもたらしていることから、制度存続と内容検討の時期に来ていると思う。

山田 申請も多くいい事業だが、事業費4百万円や助成限度額20万円の増額など運用法も見直し、多様な住民ニーズを把握すべきでは。

町長 30年度で一区切りの事業だが、議員も評価するように効果があり、事業名や内容を見直したい。事業者の商工会ともニーズ把握等は協議、検討する。

山田 冬期間のお年寄りの生活支援を優先の高齢者除雪サービス事業の内容充実は。

町長 高齢者や病弱な障がい者の緊急避難路確保で実施している。当面は現行実施とし、地域の支え合いにも期待したい。

山田 敷地内で冬の生活をするには緊急避難の幅1・5mの一本道では日常生活に危険が多い。

お年寄り個々の状況に応じて少しでも柔軟な対応を今冬からできないものか。

町長 後退ではなく前進させる方向で検討する時期にはきている。

本町で初めて建設された民間提案型住宅

後継者のパートナー対策は

農業委員会会長▼当面は現在の陣容で事業を進めていく

西森議員

西森 担い手対策協議会の事業で、パートナー事業、実習生受入事業、婚活事業を実施していますが、今の対策で農業後継者対策は良いのか伺います。

会長 パートナー事業ではカップル激励会やJA青年部が実施する交流会への支援、結婚して間もない女性対象の座談会、農業青年を対象とした講演会・研修会等を行っている。また農業体験畑作実習生の受け入れ事業を行ってきている。婚活事業では過去2回のイベントにおいて、お互い連絡を取り合う「カップル」は数組ずつ誕生しており今後の推移を見守りたいがこの事業はにわかに成果を表わすことが難しい部分もあります。本協議会の婚活事業も始めたばかりなので、現段階では温かく見守っていきたいと考えています。

西森 専属の相談員(コーディネーター)を置くべきではないですか。

会長 協議会では婚活事業に関するアンケートを行っており、農業担い手の対象者の年齢構成や考え方にも幅がありますが、年上の方を優先した事業展開を進めている関係もあり、担い手相談員の委嘱にあたっては農業のおかれている事情に詳しい先輩農業者6名にお願いしている状況にあることから当面はこの陣容で事業を進めていきたいと考えています。

西森 開拓から現在まで4～5代目となる世代で配偶者がいないため離農せざるを得ない状況はなくさなくてはなりません。仲間が少なくなったら農業は成り立たなくなる。ペアリングが成立し人口が少しずつでも増えると今まで投じて来たことも園、青少年研修館、スポーツセンター、彫刻等の整備がより生きてくると思う。一組のカップルで2億円の経済効果を町にもたらすこともいわれており、ぜひ専属相談員の配置を考えてみるべきと思うが町長に伺います。

町長 専門のプロフェッショナルを置くことはかなり色々な角度から検討しなければならないし、色々な課題はあるが国の制度的なことも視野に相談員や関係者と農業後継者、サラリーマン含めて総合的に検討したい。

人工透析患者への交通費助成は

町長▼助成制度を前向きに検討

西森 更生医療に該当する腎臓機能障害をもった町民の方々9名が人工透析治療を受けるため隣りの北見市の病院に通院しています。人工透析患者への交通費助成はどうなっていますか。

町長 北海道の「腎臓機能障がい者通院交通費助成補助金」により補助を受けられますが、残念ながら本町から北見市の医療機関の距離では助成の対象とはなりません。しかし本町の患者さん全員が障害者手帳を所有していますが、何とか方法はないですか。

町長 65歳以上で自家用車を所持していない世帯であれば、月2回利用できる「移送サービス」や75歳以上の方であれば「路線バス高齢者利用支援事業」と「高齢者ハイヤー利用サービス」なども併用して利用できます。さらに他の市町村の状況もみて今後どこまでタクシー利用をみれるか、特定疾患のような助成ができるかどうか前向きに、早急に検討していきます。

西森 訓子府からの通院も高齢により車の運転が困難となりやむなく北見市、札幌市などへの移住を考えざるを得ないという話を聞きすので提示することにより多くの交通機関で割引の対象になっています。また本町独自の制度として、腎臓機能障がい者の通院には「訓子府町身体障害者交通費助成事業実施要綱」に基づき一か月3回分のタクシー基本料金か、一か月千円分の車両燃料代相当額として助成しています。

社会的孤立状態にある人の実態把握は

町長▼全ての把握は難しい側面がある

西山議員

西山 少子高齢化が進む今、地域住民による支え合いや助け合いの仕組みづくりがその地域福祉の充実につながると思うが、各地域におけるひきこもりなど、社会的な孤立状態にある人の実態把握は。

町長 「ひきこもり」にはいろいろな背景があるので、全ての把握は難しい側面がある。

西山 津別町社会福祉協議会では平成27年8月から12月まで、地域における「ご近所つきあいに関する調査」をしているが、担当課としての感想は。

町長 潜在的なひきこもりの方もいるので、そういう調査も必要かと思うが、1つ1つ事例を選択しながら検討していく。

西山 その家族が抱える悩みや生活困窮者への相談体制とその実績は。

町長 本町で把握している「ひきこもり」と思われる人は家族と同居していて親の収入に頼っていると思われる。

その生活は厳しいことが予想され、親亡き後の生活自立の不安も大きいのではないかと思う。

家族から相談を受けたり、民生委員からの情報があった場合、保健師や生活保護窓口と連携し支援方法を検討する。

今年度は北海道ひきこもり成年相談センターへの相談につなげたケースが1件、1人暮らしを始めて就労支援につなげたケースが1件、グループホームへの入居につなげたケースが1件あった。

西山 今後に向けた地域福祉のあり方を住民参加の中でどのように取り組む考えか。

町長 今後に向けては社会福祉協議会のボランティアや民生委員と連携し、住民参加を募りながら、これまで同様努めていきたい。

「静寿園」存続のための町の支援策は

町長▼自主運営を基本として状況判断

西山 開設から間もなく30年になる特別養護老人ホーム「静寿園」は、町民にとってなくてはならない施設と思う。平成26年に増床したものの、その後の介護報酬の改定や人件費の増、今後の施設改修も含めて厳しい運営状況にあるがどのように捉えているのか。

町長 時間の経過とともに基金が減少し経営状況は悪化していて、非常に危惧を抱いている。11月9日に静寿園から「経営診断報告書」をいただいたので内容を確認している。

西山 これまでの経営改善に向けた協議の経過と今後の町としての支援策は。

町長 これまで訓子府福祉会の理事長及び施設長から、運営費補助についてお話を伺い担当者レベルで協議を重ねている。

今後の支援策は、静寿園として検討すべきことや取り組むべきことを、静寿園内部の職員とも十分な検討を行っていただき、福祉保健課の担当と協議を行なうべきと考えている。

静寿園は、訓子府福祉会が設立以来自らが運営することを基本にこれまで運営してきているので、その自主運営を基本としながら、行政としてどこまで支援すべきか、状況を判断しながら検討していかなければならないと考えている。

もうすぐ開設30年になる静寿園

介護サービス利用者の負担軽減への対応は

町長▼▼法人の理解をいただき早期に実施したい

工藤議員

工藤 低所得で生計が困難な方を対象に介護サービスを行う社会福祉法人は、利用者負担金を25％軽減できるとのことだが、このことにどう対応しているのか。

町長 社会福祉法人による利用者負担軽減事業については、社会福祉法人である「訓子府福祉会」に数年前より打診している。

この事業を実施するには軽減対策となる自己負担額の4分の1が軽減額となり、対象者の保険給付に係る総額の1％と、その1％を除いた軽減額の2分の1の額を社会福祉法人が負担することから理解を得られていない。

北海道からの指示もあり、法人の理解をいただきながら早期に実施したいと考えている。

工藤 今後の進め方としては「静寿園」の経営状況も考えなければならない中で、その点も含めて「静寿園」との協議をスピードアップして進めていくことが必要でないか。

町長 これからの「静寿園」運営に関わる具体的なプロセスを示してもらうことが第一段階。そのうえで、介護保険制度を超えて、町としての介護政策をどう進めるかが近々に求められてくる。

次期を担う町長にとって避けて通れない問題と考えている。

工藤 要介護度4あるいは5で特別な介護が必要な方を在宅で介護している家庭の場合、「特別障害者手当（月額2万6，810円）」を受けられることもあるとなっているが、その対応は。

町長 改めて申請における内容を確認し、内部で協議した結果、周知が必要と判断したので、広報などにより周知し、ケアマネージャーにも情報提供していきたい。

発達支援事業の成果をどう捉えているのか

教育長▼▼情緒面や社会性の育ちにつながっている

工藤 他の市町村と同様、本町においても特別な支援を必要とする園児や児童・生徒が増えてきている状況のなか「認定こども園」での発達支援事業の取り組みや小・中学校においての特別支援教育事業が行われているが、美幌療育病院との連携をはじめとする発達支援事業の成果をどのように捉えているのか。

教育長 発達の遅れや障がいのある子どもの特性に応じた療育指導により、一人一人にあった丁寧な支援の取り組みを行うことで、子どもの情緒面や社会性の育ちにつながり、作業療法士など専門の職員とのカンファレンスなどにより、保護者や関係機関の情報共有が図られ、子育て支援に関わる職員の知識や技術の向上にもつながっている。

工藤 一連の取り組みの中で、今後に向けての課題はないか。

教育長 高い専門性を持つ職員の確保が困難であることや病院の受診においては、近隣地域に専門医療機関が少なく直ぐには受診できないなどの状況がある。

一人一人のニーズに応えるため、専門機関との連携はもとより、保健部門、教育委員会及び関係機関、家庭、地域の皆さまとの密接な連携を図りながら、切れ目のない支援の充実に、今後においても努めていきたい。

※一口メモ

発達支援事業とは

子どもの精神発達に応じた子育て支援や親の育児不安の軽減、子育て支援に関わる職員の資質向上を図ることを目的に、美幌療育病院や子ども総合支援センター「きらり」と連携し、作業療法士や言語聴覚士など専門職員を派遣してもらい事業を実施しています。

想定外の自然災害発生時の対応は

町長▼▼訓子府町地域防災計画を基本に進める

須河議員

須河 近年、想定外の自然災害が発生しています。北海道胆振東部地震を始め、発生する豪雨・豪雪や降ひょうの自然災害は広範囲にわたり想定外の被害が発生しています。自然災害発生の現実を見据え、町民の生命・財産を守る対策を伺います。

町長 自然災害対策の現状と課題について町の対応は、訓子府町地域防災計画を基本に進めます。今回の大規模停電を例に概要を申し上げると、停電発生直後に職員登庁・情報収集、窓口業務継続作業・災害本部立ち上げ、パトロール出動、給水確保、自主避難所開設など町、消防、警察などと連携しての対応に努めました。

課題としては、想定を超える災害の対策は、限られた財源のなかでどこまで想定し、どのように備えるか、その見極めが課題です。

厳冬期に起きた場合、生命に関わることから日頃から必要な備えや避難行動など危機管理意識の向上も課題です。

須河 気象変動による自然災害も気象予報によりある程度、予知・予測が可能であります。行政は町民の生命を守る施策を求められますが災害発生時、第一に自分の命は自分で守る危機意識が重要になります。厳冬期においては、特に避難行動など、町民の高い危機意識が求められます。町民の危機意識や防災意識を高めるため行政の具体的な取り組みを伺います。

町長 町民の「自分の命は自分で守る」の周知は訓子府町防災ガイドマップを作成し、全戸配布しています。その中で災害種別の指定避難所と浸水時の避難経路を示しています。地域自主防災活動で活用していただきたい。現在町内で自主防災組織の結成を促しています。現在8組織が出来ています。この様な組織を広げて、それぞれの自主的な活動を促して、より身近な地域で防災意識を高めていきたいと考えています。

須河 本町の防災訓練に立ち会いました。今後は、人的災害発生時の問題点の洗い出し、一段と精度の高い防災対策を望みますが考えを伺います。

町長 災害は想定が出来ないのが現状です。耐震の検査をして震度5強で倒壊する施設は特に子どもたちの学校関係については、早急に耐震補強をしました。学校では子どもの防災訓練を行っています。スポーツセンターでも震度5強で倒壊する恐れがあると診断され、避難所として重要な役割を持つので、建て替えの決断をしました。学校の避難所は学校を開くので、いつまでも利用できない。スポーツセンターや社会教育施設は、町民の安全な避難施設として有効的な施設であり建設され良かったと考えます。避難所で必要な物は、トイレ、キッチン、ベットです。発電機を含め防災器具の購入、ベットの補強も行います。全町的対応を重点に置き最善を尽くします。

スマート農業導入の研究、研修支援は

町長▼▼スマート農業研修会を継続開催する

須河 農業は従事者の減少や高齢化が進み、規模拡大と経営の効率が求められます。次世代農業を目指すスマート農業導入への研究・研修について伺います。

町長 家族労働力主体の農業経営ではスマート農業技術の活用は、大変重要であると認識します。通信網の整備が遅れており、政調会において整備の予算を要望しています。北見農試やホクレン実証農場と連携し、スマート農業の研修会を継続開催とともに、導入支援は補助事業の活用を検討します。労働力の負担軽減、設備投資の抑制が図られ、労働力不足や経営の改善等につながると期待しております。

※一口メモ

スマート農業とは

スマートは「賢い」の意味。ロボット技術や情報通信技術を活用することで農業の労働力不足を補い、また農作業の効率化・省力化・高品質化を実現するものであります。

パブリックアート事業今年度の執行額は

教育長▼▼総額で２１４万円

余湖議員

余湖 平成27年の「関係空間」のレクリエーション公園への移設に始まった「パブリックアート事業」も今年で３年を終え、一連の事業に対する成果・評価をお聞かせください。

教育長 パブリックアート事業のさまざまな取り組みにより町民が芸術への興味・関心を広げることができ、人の感性や創造性を豊かにするきっかけづくりにつながったと感じています。

余湖 30年度各種事業の予算執行額は。

教育長 30年度の事業経費は、彫刻作品公開制作に１４６万円、粘土工作ワークショップに13万円、武蔵野美術大学の学生による黒板ジャックと対話型鑑賞会、訓子府高校美術部指導に53万円、パブリック入門講座に２万円、総額２１４万円です。

余湖 レクリエーション公園に設置・展示している作品についての町民の評価・反応についてどう感じていますか。

教育長 レクリエーション公園は町民をはじめとして町外から来られる方の憩いの場や遊び場など日常と違う空間としてさまざまな楽しみ方で利用されており、そうした楽しみ方をより幅広くしていくのが彫刻の一つの役割と考えています。

子ども達は「関係空間」の周りで遊んだり、幼稚園の遠足などでは記念の集合写真を撮影し、「うんま」については親子で作品に乗ったり、馬の話をしたりするなど自然な形で彫刻作品と触れ合う中で徐々にではありますが公園のシンボル的な存在として役割を果たしてきています。

余湖 「うんま」については町民の中からもあれは「うま」なのか私は「カバ」かと思ったなど感じ方に差があると思います。

作品についての芸術性を教えてください。

教育長 個々の作品についてはそれぞれの皆さんの感じ方があると思います。

公式の発言ではありませんが私見として話させていただきます。

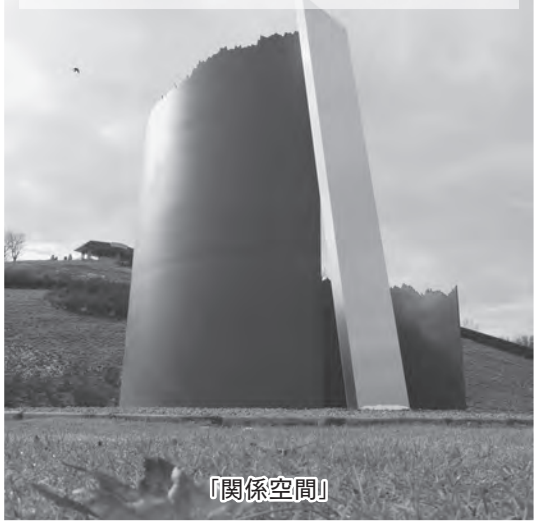
「関係空間」については「サイロを半分に切った」でも構わないと思います。他の方は、あの斜めはどうなんだろうか、ステンレスの壁はどうなんだろうかとかお互いに話し合いながら物の多面性とか物のいろんな面を見ていただき、感じ取っていただくことが芸術作品の価値かと思います。

「うんま」については「カバ」と思われてもいいと思います。

でも前から見たら馬に見える。「馬の武骨な荒々しさ、開拓期のはげしい耕作の様子など馬を大事にしていたということも含めて馬の作品を作ったと思います。

作品にはいろんな見方があると思うので、いろんな方が、あの場で語り合っていただくことや芸術を深く読みとるなど、目を養うということだと思います。

質問：サイロを半分に切ったように見えるが
答弁：見て感じることが芸術作品の価値



「関係空間」

質問：後ろから見るとカバに見えるが
答弁：それでいいと思う、武骨な荒々しさが開拓期の馬の姿

「うんま」

平成30年第4回定例会　賛否の公表

議件番号	議件名	結果	余湖	川村	西森	堤	西山	工藤	須河	河端	山田	上原
第51号	平成30年度訓子府町一般会計補正予算 【内容】高齢者ハイヤー利用サービス業務の委託料、スポーツセンター落成記念事業費など	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第52号	訓子府町スポーツセンター設置条例の全部を改正する条例の制定 【内容】建て替えに伴い条例を全部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
第53号	訓子府町認定こども園条例等の一部を改正する条例の制定 【内容】子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴い条例を改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第54号	財産の取得 【内容】スポーツセンターで使用するスポーツ器具等を購入するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第55号	町道路線の廃止 【内容】末広団地南3条線道路整備に伴うもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第56号	町道路線の認定 【内容】末広団地南3条線道路整備に伴うもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
第57号	平成30年度訓子府町一般会計補正予算 【内容】語学指導助手に関する経費	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成、×：反対

※上原議員は議長のため採決に加わっていません。
※各議案の採決で、異議なく原案可決されたものは、全員賛成したものとして表記しています。

議会モニターからの意見

5名の議会モニターから「議会だより（11月1日発行の9月議会の199号）」と「議会ホームページ」について出された意見を紹介します。

議会だよりについて

◆認定、報告は大事なことだとは理解するが、もう少しコンパクトにしたら読みやすい◆一般質問で議員の質問、答えを簡潔にするのは難しいのか◆質疑応答はホームページで見るなど議会だよりとホームページの役割を分担することで議会と議員のことを知って、興味を持ってもらうことが議会だよりの役目だと思った◆議員が一般質問を終えて返答に対してどう思ったかの感想があればいいと思う◆議会報告会について、議員が町民の元へ足を運んで生の声を聞くような形にはできないか◆研修の内容をもっと見てみたい◆外部研修も大事だがもっと町民の声を聞く活動も行ってほしい◆質問内容に多くの町民の声を反映してほしい◆もう少し詳しく他のモニターの意見を見たい◆一般会計補正予算について「主な歳出」と断りながらも書かれている金額が少ない◆国に返還した金額を企画財政課で知ったが表示の仕方に工夫が必要◆一般質問の題字を見ても興味が沸かない◆縦文字より横文字の方が読みやすい◆免許証の自主返納は簡単な問題ではないので議員のみんなでもっと前に進めてほしい

議会ホームページについて

◆議会インターネット中継は考えているのか◆ホームページが更新されていないのでは◆議会報告会の記事が掲載されていない◆文章途中の改行はブラウザや表示の設定により見難い場合があるので気をつけてほしい◆ほとんどPDFへのリンクとなっており、ある程度の内容の概略をそのままページを開いて一目で分かるようにしては◆議会だよりはいつ更新されるのか◆議員紹介は改善されて良かった

町議会ホームページはこちらから　訓子府町議会　検索

平成29年度
各会計の決算を認定

第３回定例会（平成30年９月11日）において、決算審査特別委員会（委員長：須河　徹）に付託された「平成29年度訓子府町各会計決算」については、同年11月５日から８日の４日間にわたり、決算報告書などを審査した結果、６会計の決算はいずれも正当で認定すべきものとして本会議で委員長報告があり、認定することに決定した。

決算審査特別委員会の〝審査意見〟

1．歳入

・税や使用料等の徴収に職員の努力とその成果が大いに見られ、引き続き徴収に努めることを望む。

・重複滞納者に対し、関係課が現在も連携の中で徴収にあたっており、個人情報などの課題があることは理解しているが、今後も連携体制を引き続き維持し、効率的な徴収に努めるとともに、滞納者の生活実態にも配慮した対応を望む。

・町有林等の生産物売り払いについては、適切な伐期を見極め、重要な町の財産の管理に努めるとともに、林業の専門的知識の人材育成を望む。

・国の動向を把握し、町の施策に国の支援施策を積極的に取り込むことを望む。

2．歳出

・各種施策の財源確保のため、国の政策と連動した町としての積極的な展開を図る必要があり、国の施策の情報収集に努めることを望む。

・各種事業の効果を十分に把握し、行政運営に反映するため、より適正な予算執行に努めることを望む。

3．福祉の予防事業などは、重要なものであることから、引き続きサービス利用促進に向けたＰＲを望む。

4．高齢者ハイヤー利用サービスおよび路線バス高齢者利用支援事業は、その効果が認められ、今後も事業の継続を望む。

5．民間提案型住宅整備事業の効果は認められる。今後も幅広い人口減少対策の検討を望む。

6．水道事業では厳しい財政状況ではあるものの、重要なライフラインとして老朽管の更新等、「水道ビジョン」の着実な推進を望む。

最後に、厳しい財政状況の中、財政健全化を図りながら住民サービス向上に向けた職員一人一人の努力は、十分に評価できるところである。

今後においても、より一層の財政健全化を図りつつ、歳入・歳出のバランスに留意し、町民のための「まちづくり」に向け、創意、工夫と一層の努力をお願いするものである。

平成29年度　各会計決算額

（単位：円）

会計名		歳入	歳出	差引額
一般会計		5,555,585,012	5,331,494,027	224,090,985
国民健康保険特別会計		949,766,507	948,867,745	898,762
後期高齢者医療特別会計		81,278,276	81,243,176	35,100
介護保険特別会計		524,674,379	517,408,885	7,265,494
下水道事業特別会計		182,948,878	182,948,878	0
合計		7,294,253,052	7,061,962,711	232,290,341
水道事業会計	収益的収支	166,240,664	131,923,485	34,317,179
	資本的収支	59,382,037	86,748,566	△ 27,366,529

道内行政視察研修を実施

西山 由美子

【美瑛町を視察して】

11月15日、丘の町美瑛町を訪ね、町民の健康づくりを目的とした「びえいK♡U（健幸♡嬉しい）宣言事業」について研修をしてきました。

対象者は20歳以上の町民で、自主的な健康づくりの活動に対し、ポイントが貯まり、20ポイントで3種類から選べるクーポンと交換できる仕組みです。

2年前からの取り組みですが個人や集団でも効果が上がり、特定健診の受診率は47％台、特定保健指導受診率も70％を超え目標値に達しています。

今後の課題として商工会などとの連携や、無関心層への働きかけ方、飽きない仕組みづくりをあげていました。

保健センター所長の詳細な説明の中で事業を継続していくために3年で見直しし、次なる作戦を立て、新しい受診者をどう誘うかを、地域・商工会などと協力し合って課題解決に積極的に取り組む姿勢に感心しました。町民も楽しみながら事業に参加できる雰囲気づくりも大変参考になりました。この他「議会インターネット中継」についての質問書を送りましたが、書面にて丁寧に答えていただきました。

美瑛町で説明を受ける議員

【芽室町を視察して】

11月16日、議会改革の先頭に立つ芽室町議会を訪ね、条例に基づいた実践や課題解決を学ぶことで今後の自分達の意識向上を目指して選びました。

議場での視察対応に驚きましたが全国から毎年多くの視察を受けるとのこと、効率的な方法なのでしょう。改革の流れを説明してくれた方2名とも1期目議員で「これが当たり前と思ってやってきた」と言い、新人議員育成の成果と感じました。

議会活動の中のモニター制度の人選や町民への議会報告会のマンネリ化は、芽室町も同じ課題を抱えていたがそこに留まらず課題解決のために積極的に行動し、その間の議員や町民との議論の積み重ねの中でお互いの意識も変わって進化していったのだと感じました。

広瀬議長のリーダーシップは当然ですが、1人の強い力で改革を進めたのではなく、何のための議会か、誰のための議会活動かという、常に自らに問いかけ原点・目的に戻って議論し、言うだけではなく、実際に動く、やってみて、評価・見直しをする活動を通して町民も理解や関心を示すようになったのだと思いました。

芽室町で説明を受ける議員

議会改革で全国で注目を集めているけれど皆さん謙虚で丁寧な説明をしていただき、大変有意義な研修だったと思います。

北網ブロック町議会議員研修会に参加

河端 芳恵

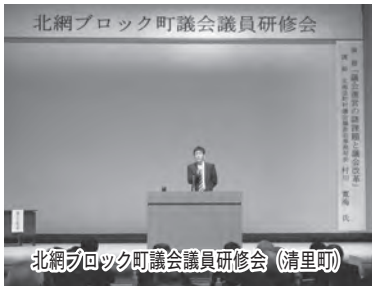
10月18日、清里町生涯学習総合センターで研修会があり、北網ブロック8町から98名の議会議員・議会事務局職員が参加しました。

本町からは、9議員2職員が参加しました。

「議会運営の諸課題と議会改革」について道町村議会議長会の村川事務局長の講演がありました。

議会改革の栗山町議会、通年議会の白老町議会などの事例を挙げて議会のあり方に関する報告や議員報酬、議員のなり手不足などどこの議会でも抱えている課題についても話されていました。

本町でもさまざまな課題がありますが、しっかり町民の声を聴いて行政に向き合うよう議員の資質を高めなければならないと改めて感じました。



北網ブロック町議会議員研修会（清里町）

くんねっぷ議会だより　第200号
2019年（平成31年）2月1日発行

議会の主なうごき

11月

2日　訓子府福祉会役員との意見交換会（総文所属議員、議長）
3日　功労者等顕彰式（全議員）
5~8日　決算審査特別委員会
8日　老人クラブ連合会輪投げ大会（議長）
11日　居武士小学校学芸会（正副議長、総文委員）
13日　青少年研修館落成式（正副議長、総文委員長）
15~16日　先進地視察研修（美瑛町・芽室町：9議員）
17日　訓子府高等学校創立70周年記念式典（全議員）
20~21日　町村議会議長全国大会（東京都：議長）
22日　全員協議会
議会活性化特別委員会
23日　自民党移動政調会（北見市：議長）
新穀感謝祭祭典（正副議長、産建委員長）
24日　こども園発表会（正副議長、総文委員）
26日　商工会役員との意見交換会（産建所属議員）
28日　議会運営委員会
29日　総務文教常任委員会
30日　議会運営委員会
第4回臨時会
産業建設常任委員会

12月

7日　老人クラブ連合会役員との意見交換会（総文所属議員、議長）
11~12日　第4回定例会
12日　議会広報特別委員会
13日　議会活性化特別委員会
議会運営委員会
18日　農業委員会委員との意見交換会（産建所属議員）
社会教育委員との意見交換会（総文所属議員、議長）
19日　訓子府町社会福祉協議会理事会（議長）
20日　JAきたみらい役員との意見交換会（産建所属議員）
21日　議会広報特別委員会
議会活性化特別委員会

1月

4日　武部新代議士新年初顔合わせ（北見市：議長）
5日　訓子府消防団出初式（全議員）
7日　中央長寿会新年会（議長）
8日　公職者・団体代表者等新年交礼会（全議員）
11日　議会広報特別委員会
議会活性化特別委員会
13日　成人式（全議員）
18日　議会広報特別委員会
総務文教・産業建設常任委員会所管事務調査（現地調査）
町内会連絡協議会役員との意見交換会（全議員）
19日　議員研修会（全議員）
22日　総務文教常任委員会（所管事務調査）
25日　産業建設常任委員会（所管事務調査）
ふれあい昼食会（議長）
26日　自衛隊家族会訓子府地区会総会（議長）

委員会の活動

議会運営委員会

□11月28日（水）
○第4回定例会の運営方法について協議
□11月30日（金）
○第4回臨時会の運営方法について協議
□12月13日（木）
○議員の公務出欠の公開等について協議

総務文教常任委員会

□11月29日（木）
○第4回定例会における議案の審査について協議
□1月18日（金）
○所管事務調査（現地調査）
□1月22日（火）
○所管事務調査

産業建設常任委員会

□11月30日（金）
○第4回定例会における議案の審査について協議
□1月18日（金）
○所管事務調査（現地調査）
□1月25日（金）
○所管事務調査

議会広報特別委員会

□12月12日（水）
○「議会だより」第199号の問題提起、次号の掲載予定記事の確認
□12月21日（金）
○第4回定例会での一般質問の原稿等を確認
□1月11日（金）・18日（金）
○「議会だより」第200号の確認

あとがき

私たちの任期も残すところ3か月。
時の過ぎ去る速さを改めて実感しています。
同時に、忙しさに心を奪われている間に、初心をどこかに置き忘れてはいないかと自問することもあります。
議会もこの間「議会基本条例」制定に向けての議論の中で、なぜ議会が必要か、私たちの議会はどこを目指すのか等々「そもそも論」を時間をかけてしてきました。このような議論が決して無駄にならないよう残された期間、議員一同がんばります。

工藤　弘喜

■発行　北海道訓子府町議会　■編集　訓子府町議会広報特別委員会
〒099-1498　北海道常呂郡訓子府町東町398　TEL0157-47-2184　FAX0157-47-2600
ホームページ http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/gikai/　メールアドレス gikai@town.kunneppu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長
山田日出夫

副委員長
堤　三樹磨

委員
余湖　龍三
川村　進
西森　信夫
西山由美子
工藤　弘喜
須河　徹
河端　芳恵

議長
上原　豊茂